

レビの会 ご案内

日本語礼拝についての色々な話し合い、
交わりを共に致しましょう。

時 間 : 2008年4月13日(主) 部礼拝後
場 所 : 3階食堂

※3月は聖書勉強会を行います。
皆様の出席をお待ちしております。

時 間 : 2008年3月9日(主) 部礼拝後
場 所 : 3階女性会室

レビの会よりお知らせ

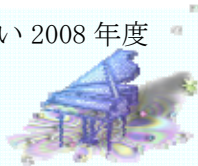
- 3/20 登山に関する会議を聖書勉強会後に致します。
- 3/9 13:00~14:00 街頭伝道に行きます。
3階食堂に12:45に集合して下さい。



レビの会 報告

- 2/24(主) I部礼拝後にホサナ聖歌隊総会をおこない2008年度役員を決定致しました。

ホサナ聖歌隊 隊長: 森克之 会計: 金愛子
総務: 高慶美 鄭龍成 田村直己



ご意見ご感想はリーダー、編集者までよろしくご願ひ申し上げます。

レビの会 リーダー : 崔 朱里

レビニュース 編集者 : 宮脇盛人

メール rebi-news02519@hotmail.co.jp

レビの会 ニュース

http://www.osakachurch.or.jp/jpnworship_rebi.html

神様に愛されている喜びを、分かち合ひましょう。

レビの会 News



わたしは主、あなたの神
わたしはあなたを教えて力をもたらせ
あなたを導いて道を行かせる。

(イザヤ書 48:17)

発行 2008年3月9日(第2主日)

No. 62

題目：「よみがえる枯れた骨」

在日大韓基督教
大阪教会
2008年3月2日

聖書箇所：エゼキエル書 37:1-6

3月1日は、朝鮮民族にとって特別な日です。朝鮮という国、民族は、1910年に、日本という国、民族の支配下に置かれ、植民地とされてしまいます。民族の自立、独立を失ってしまいます。日本による植民地支配という民族にとっての苦難と試練の時期に、1919年3月1日に始まった三一独立運動は、たとえ鎮圧され、独立を勝ち取ることができなかったとしても、民族に希望の光を与えるものでした。民族自決という理想を高らかに歌った独立宣言文が、民族代表33人の署名によって発表され、ソウルのタプコル公園で朗読された後、燎原の火のごとく全国に広がり、あらゆる階層の民衆による独立万歳の叫びが響きわたりました。特に、独立宣言文の起草から、平和的なデモ行為に至るまで、主の教会が果たした役割が大きかったことは、韓国教会が民族と運命を共にする民族教会として民族に受け入れられる契機ともなりました。その分、韓国教会が受けた弾圧も厳しいものがあつたことも歴史の事実です。(堤岩里教会事件などが知られています。) 韓国教会は、その3月1日を覚えて、89周年を迎える今年も、民族のために祈りをささげるのであり、私たち在地の教会も祈りを共にいたします。

イスラエル民族は、紀元前6世紀という遠い昔に、自分たちの国が失われるという悲劇を経験します。国が奪われるだけでなく、おもだった人たちが支配者の国であるバビロンに捕虜として連れて行かれるという悲哀にも甘んじなければなりません。もはや、イスラエルという民族が、消え果ててしまうのではないかという危機に置かれることとなります。そんな中で、主は、預言者エゼキエルを通して、ひとつの幻を示してください。それが、**エゼキエル書 37章**に記されている「**よみがえる枯れた骨**」の幻です。エゼキエルは、主の霊に導かれて、幻の中で、骨がいっぱいに転がっている谷の真ん中に降ろされます。非常に多くの骨があり、それらは甚だしく枯れていたと言います。その時、主がエゼキエルに問いかけます。「**人の子よ、これらの骨は生き返ることができるか。**」枯れた骨が生き返るだろうとは、誰も予想できません。しかし、エゼキエルは主を信じて答えます。「**主なる神よ、あなたのみがご存じます。**」人間には不可能と思えたとしても、主の御心ならば不可能はなく、すべては主にかかっていることをエゼキエルは告白しました。そのエゼキエルに向かって主は命じられます。(4-6節)「**これらの骨に向かって預言し、彼らに言いなさい。枯れた骨よ、主の言葉を聞け。これらの骨に向かって、主なる神はこう言われる。見よ、わたしはお前たちの中に霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。わたしは、お前たちの上に筋をおき、肉を付け、皮膚で覆い、霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。そして、お前たちはわたしが主であることを知るようになる。**」

エゼキエルが見た幻は、イスラエルの家・民族が、主の御言葉と霊によって蘇らせられるというビジョンでありました。枯れた骨のようになってしまった民族でも、主の御言葉が語られ、霊が吹き込まれるならば、必ず蘇るであろうというビジョンを、主は与えてくださったのです。主は必ず、国を失い捕虜となったイスラエルを引き上げてくださることでしょ。そして約束の土地へと連れ帰ってくださるのです。その時に、イスラエルは主なる神様を知ることになります。御言葉と霊によって新しい命が吹き込まれるときに、人は主が主であることを知るのです。三一独立運動は、朝鮮半島の歴史の中で、主の霊による蘇りのビジョンを垣間見させる事件であったと言えます。私たち主の民には、枯れた骨をよみがえらせるという幻、ビジョン、主の御言葉が与えられています。主の御言葉は、押しひかれているすべての魂に主の霊を吹き込み、よみがえりの命の勝利を宣言する主の民としての独立宣言文でもあります。この誇り高い主の民の独立宣言文を、高らかに告げて証しする私たちであることを願います。

孫信一 牧師

あなたは どのように すごしていますか？

★ 自問 自答 してみましょ。★

私は、内面の豊かさを
何よりも重視している
だろうか。

言葉の管理は
心の管理から
始めているだろうか。



神様の声が聞こえますか。

何をもって
成功した人生だと
考えているか。

苦難が喜びに
変わる時がある。
体験の中で 自分に
身に付いた知識は
何でしたか。

主を讃える人生を
歩んでいきましょ

主に喜んでいただき

イエスキリストの
苦難を覚え

この問答自答した あなたは 何を発見しましたか。